

安芸高田市地域公共交通計画(案)

2022/12/2

安芸高田市 企画部 政策企画課

目次

1. はじめに
2. 安芸高田市の現状と今後の方向性
3. 安芸高田市の公共交通の現状と課題
4. 公共交通の見直しのポイント
5. 基本方針及び目標
6. 今後のスケジュール

1. はじめに (次の公共交通計画の策定にあたって)

- 平成30年に「安芸高田市地域公共交通網形成計画」を策定し、**既存の交通資源を活かした持続可能な公共交通体系の実現に向けて取り組んできた**



- 一方、**人口減少・少子高齢化の進展、担い手の高齢化などにより**厳しい環境にあった公共交通については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う新たな生活様式に基づき、**利用状況に大きな変化がもたらされ、より厳しいものとなっている**

次の公共交通計画

(令和5~9年で実現すること)

- 利用状況に合わせた交通体系の見直し
- 市の将来を見据えた上で、課題となっている点を解消する方向を示す

2. 安芸高田市の現状と今後の方向性（現在策定中の「都市計画マスタープラン」で整理）

都市計画マスタープランより引用

まちづくりの基本的方針（理念・目標）

○これまで検討してきた本市の都市計画における解決すべき課題を踏まえ、目指すべきまちの方向性として、以下の4項目が考えられる。

		解決すべき課題
安芸高田市の現状 市民アンケート調査	①人口	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少により、一定の人口を必要とする生活サービス施設の維持や生活利便性の確保が困難となる可能性があり、対策が必要である。 ● 特に高齢者は日常生活における移動が困難となることが予想され、高齢者が安全・安心・快適に生活できるような居住環境確保、アクセス環境の整備が必要となる。 ● また、産業の担い手不足が見込まれ、活力の創出に向けた対策が求められる。
	②土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物用地の点在による都市のスプロール化が懸念され、その対策が必要である。 ● 現在放置されている空き家に対する対策、今後空き家を増やさないための対策が必要である。
	③公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化の進行が見込まれる中、将来的に免許返納等により移動困難者が増加する可能性があり、地域住民の足を引き続きカバーし続けることが求められる。 ● お太助ワゴン、お太助バス、もやい便、とろっこ便は赤字となっていることから、利用者のニーズに対応しつつ、公共交通の効率的な運用の検討が必要である。
	④産業	<ul style="list-style-type: none"> ● 卸売・小売業といった一定の人口を必要とする生活サービス施設が縮小し、日常的な買い物が困難になる等の状況が見込まれることから、ニーズに応じた商業機能の強化が求められる。 ● 観光客数の増加、観光消費額の増加に向けた観光業の活性化が求められる。 ● また、観光客が本市に訪れやすく、市内の観光地を巡りやすいような公共交通の整備が求められる。 ● 産業の活性化を推進し、生活水準の維持や雇用の創出を図る必要がある。
	⑤都市施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政の悪化により、まちの維持に必要なコストの支払いが困難となることを防ぐため、都市施設の集約及び再編、適正配置、長寿命化等を行うことで、公共施設に対する維持管理費を削減する必要がある。 ● 都市施設の老朽化対策及び耐震化の推進が必要である。
	⑥防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 浸水想定区域付近の住民、特に高齢者の安全確保に配慮する必要がある。 ● インフラの耐震化・長寿命化、防災拠点の整備等、災害に強い都市基盤の整備の推進が求められる。 ● 災害リスクの低い区域への居住の誘導や、災害ハザードマップ等に基づきリスクの周知・啓発等のソフト対策の推進も必要である。
	⑦都市構造	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の適正配置により、施設を訪れやすい環境の整備が必要である。 ● 特に、高齢化の進行に伴い、日常移動が困難な高齢者が増えることが予想されるため、高齢者の都市機能へのアクセス確保が必要である。
	⑧日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の生活行動パターンを踏まえ、都市機能の配置の適正化が必要である。 ● 過度な車依存からの脱却を図り、高齢等の理由で運転免許を返納した後も日常生活を快適に過ごせるよう、都市施設や公共交通網の整備が必要である。 ● コロナ禍による住民の外出頻度低下に伴い、地域コミュニティの弱体化等が懸念される。
	⑨住民意向	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在安芸高田市内に居住している住民が、将来にわたって住み続けたいと思える都市環境の整備が必要である。 ● 特に吉田町を中心に、災害リスクへの対応を強化すること等による、安心して暮らせるまちづくりが求められる。

目指すべきまちの方向性

コンパクトな都市の構築
居住や都市機能の集約、施設の適正配置により、持続可能な都市の構築を図る。
(対応項目：①②④⑤⑦⑧)

安全・安心な居住環境の確保
災害リスクの低い安全な地域への居住誘導を図るとともにインフラの整備等を行い、ハード・ソフトの双方から安全・安心な居住環境の確保を図る。
(対応項目：①②⑤⑥⑨)

活力の創出
地域ならではの産業の活性化や、地域コミュニティの強化により、活力の創出を図る。
(対応項目：①④⑧⑨)

交通アクセスの確保
誰もが都市機能等の目的地へアクセスしやすい環境の整備を図る。
(対応項目：①③④⑦⑧)

○交通については、日常移動を支える持続可能な公共交通サービスの構築や、市内外の交流を促進する交通ネットワークの強化に向けた取組を行います。

■ 交通に関する現状・問題点

公共交通について

- 鉄道や路線バス以外に、自家用有償旅客運送、デマンド型区域乗合を含めた様々な手段で地域公共交通を分担している。
- 高齢化の進行が見込まれる中、将来的に免許返納等により移動困難者が増加する可能性があり、地域住民の足を引き続きカバーし続けることが求められる。

道路について

- 大阪府と山口県を結ぶ中国自動車道が横断しており、美土里町に高田ICがある。
- 大竹市と三次市を結ぶ国道433号が美土里町、高宮町を通過している。
- 広島市と島根県松江市を結ぶ国道54号が八千代町、吉田町、甲田町を通過している。

■ 交通に関する本市の取組

- 平成30年に地域公共交通網形成計画を作成し、「みんなが使いやすい公共交通があるまち あきたかた」を実現するための基本方針を定めている。
- 広島県により、東広島高田道路（向原～吉田間）の整備が進められている。

■ 交通に関する取組方針

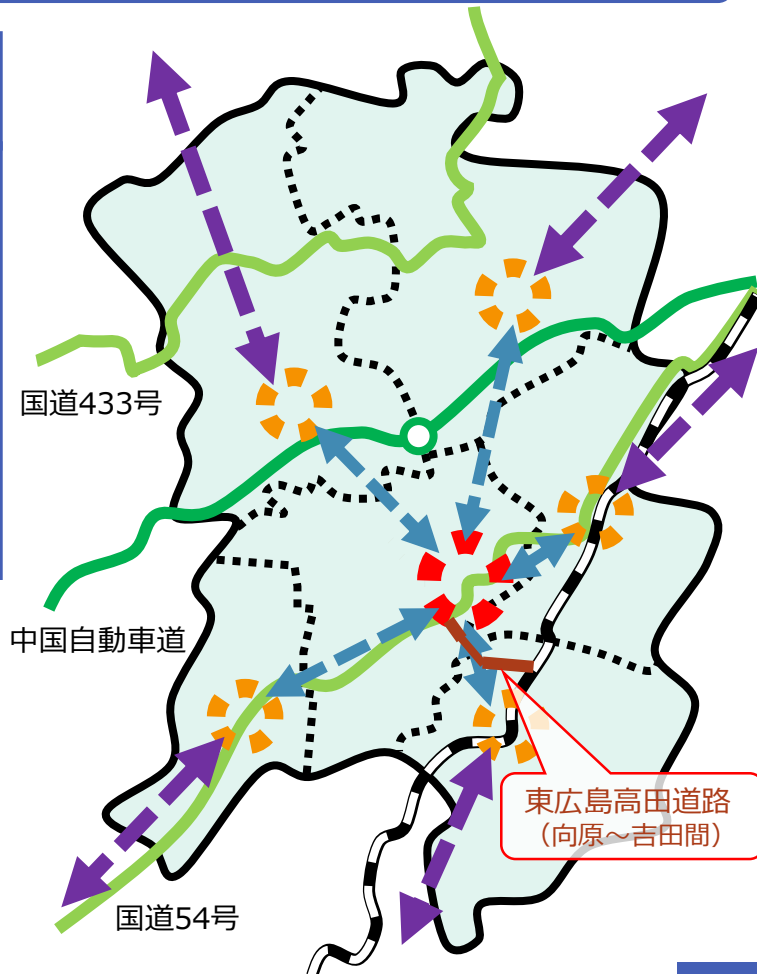
快適な生活を支える交通ネットワークの構築

日常移動を支える持続可能な公共交通サービスの構築

- 地域拠点・中心拠点へのアクセスの確保
- 中心拠点と地域拠点間の往来がしやすい公共交通サービスの構築
- 交通弱者や公共交通空白地にも対応した柔軟性のある公共交通サービスの提供
- 効率的な事業運営

市内外の交流を促進する交通ネットワークの強化

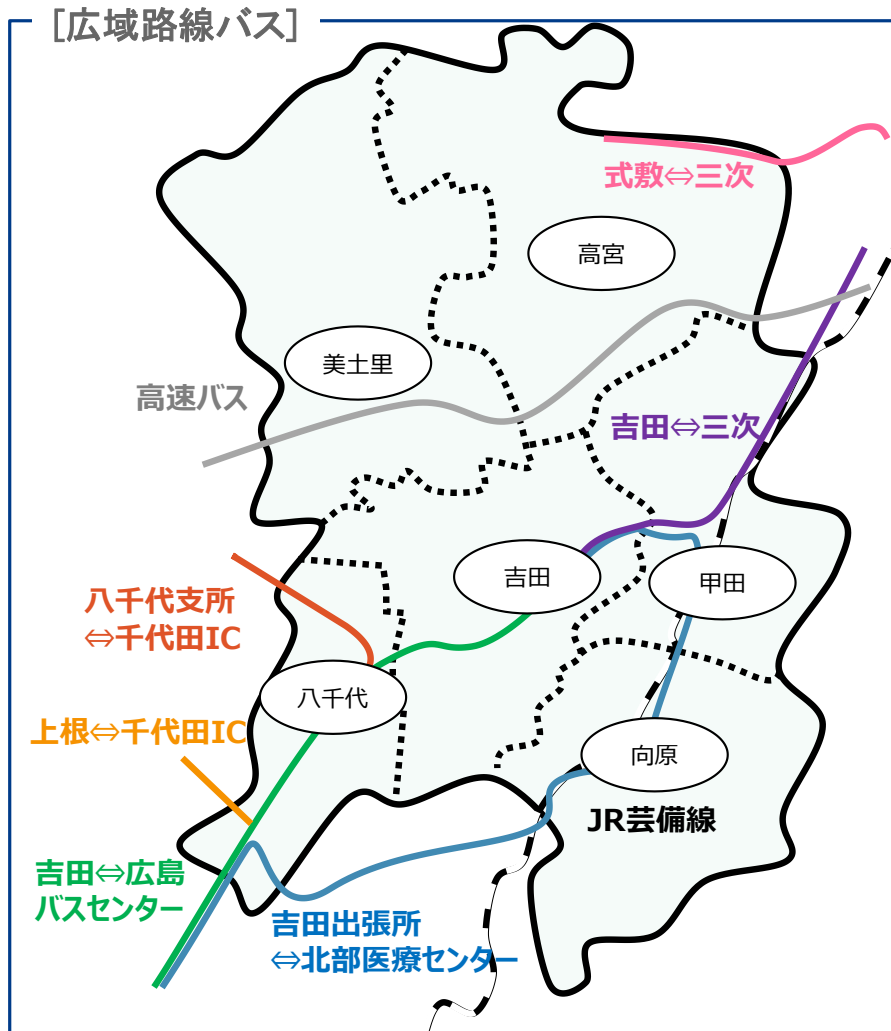
- 広域移動を担う幹線道路網の整備・充実
- 地域内道路の整備、都市活動を支える道路の長寿命化



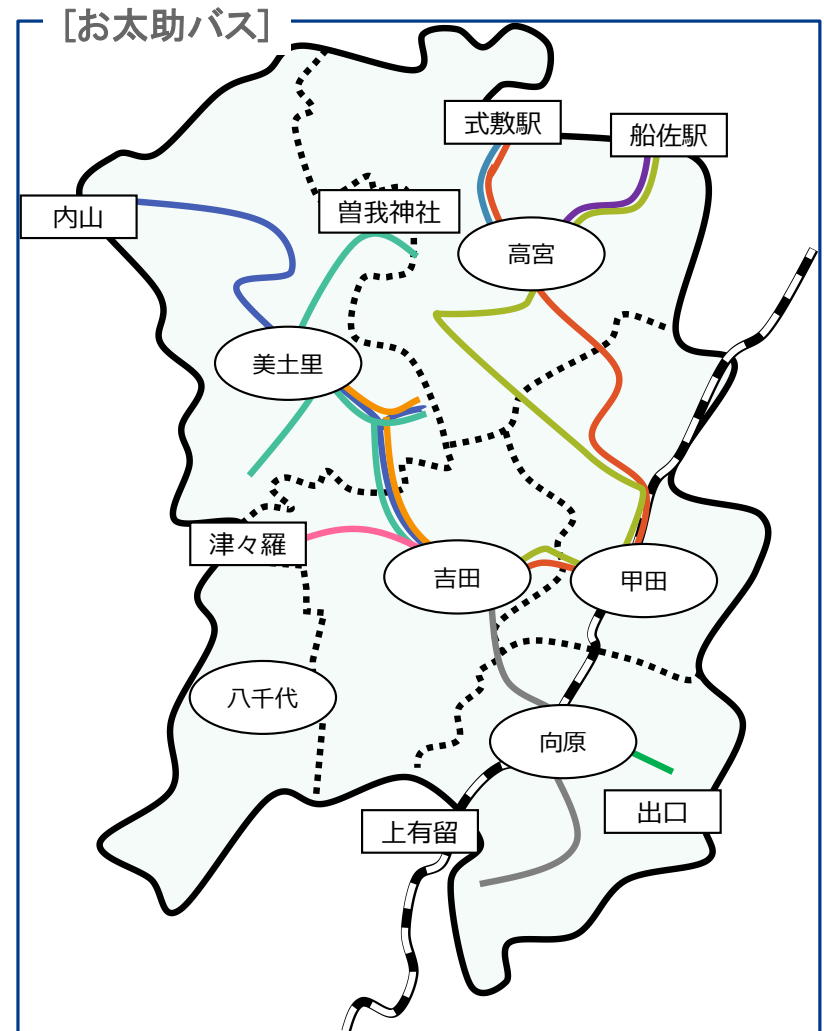
3. 安芸高田市の公共交通の現状と課題 (公共交通の現状)

現状の公共交通は、定時定路線運行の路線バスとデマンド型交通の組み合わせで市内を網羅的にカバーしており、**市外へのアクセスや市内各拠点へのアクセスを可能にしている**

■ 定時定路線運行の路線バス



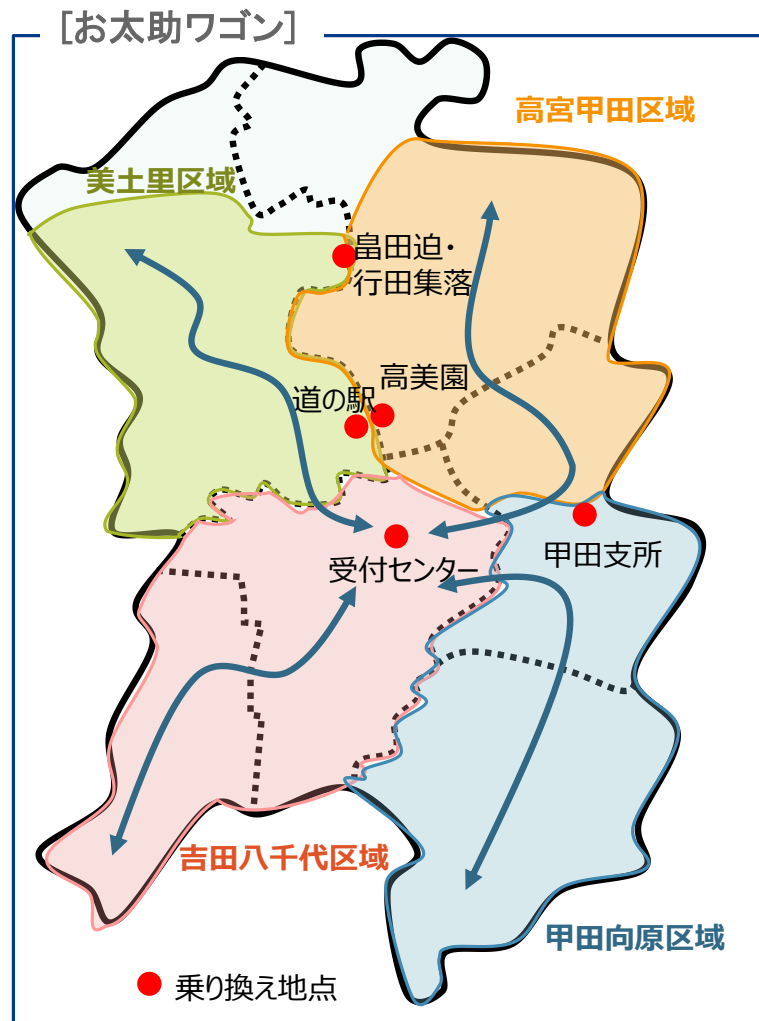
+



3. 安芸高田市の公共交通の現状と課題 (公共交通の現状)

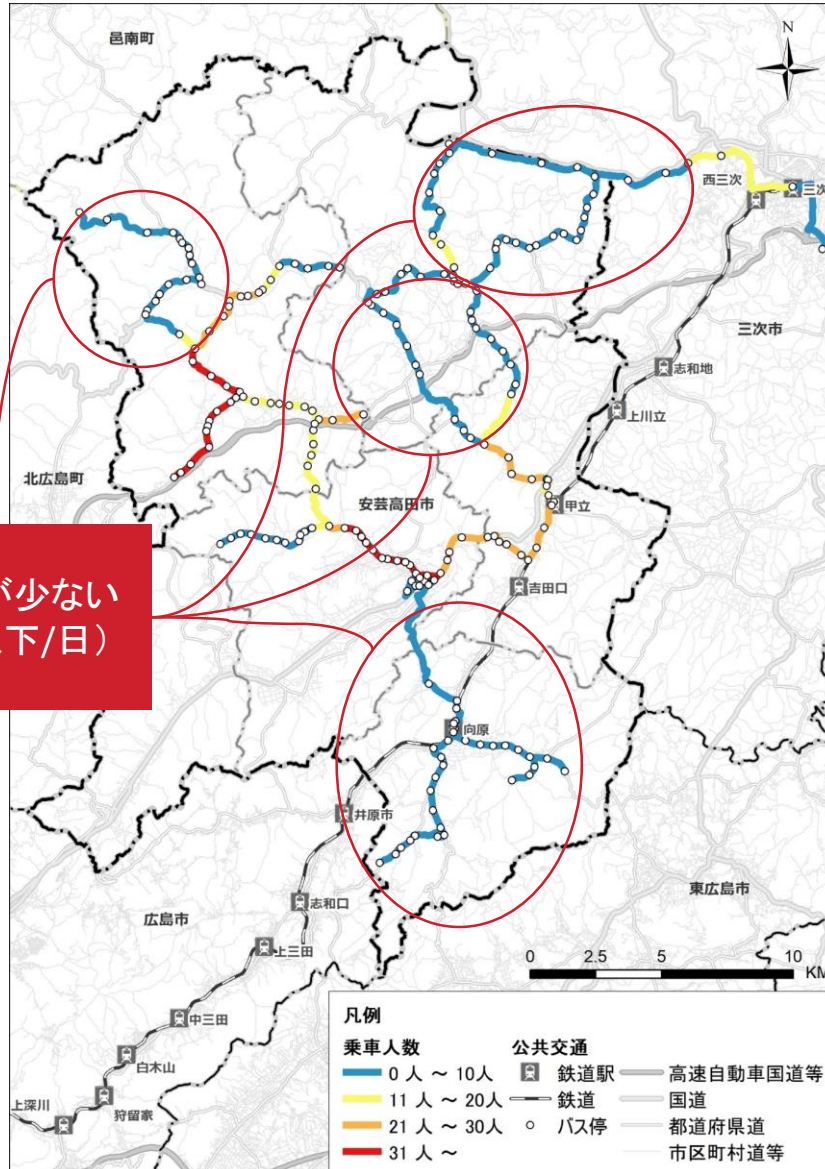
現状の公共交通は、定時定路線運行の路線バスとデマンド型交通の組み合わせで市内を網羅的にカバーしており、**市内全域から吉田町中心部へのアクセスを可能にしている**

■ デマンド型交通の運行範囲



3. 安芸高田市の公共交通の現状と課題 (お太助バスの利用の現状)

■ お太助バスの乗車人数状況 <2021年>



利用者が少ない
(10人以下/日)

■ お太助バスの運行時間帯・運行便数

路線名		運行時間帯	運行便数
風の谷内山線	美土里線	7時台・16時台・17時台・18時台	4
美土里中央線	美土里線	7時台・15時台・16時台	3
曾我神社線	美土里線	7時台・16時台・18時台	3
津々羅線	吉田線	7時台・15時台×2・16時台・17時台	5
式敷線	高宮線	7時台・16時台・18時台	3
船佐線	高宮線	7時台・16時台・17時台・18時台	4
式敷駅線	高宮線	(月・水) 8時台×2・15時台	3
船佐駅線	高宮線	(火・金) 8時台×2・14時台	3
上有留線	向原線	7時台・16時台・17時台・18時台	4
出口線	向原線	7時台・17時台×2・18時台	4
式敷三次線	高宮線	6～19時台	10

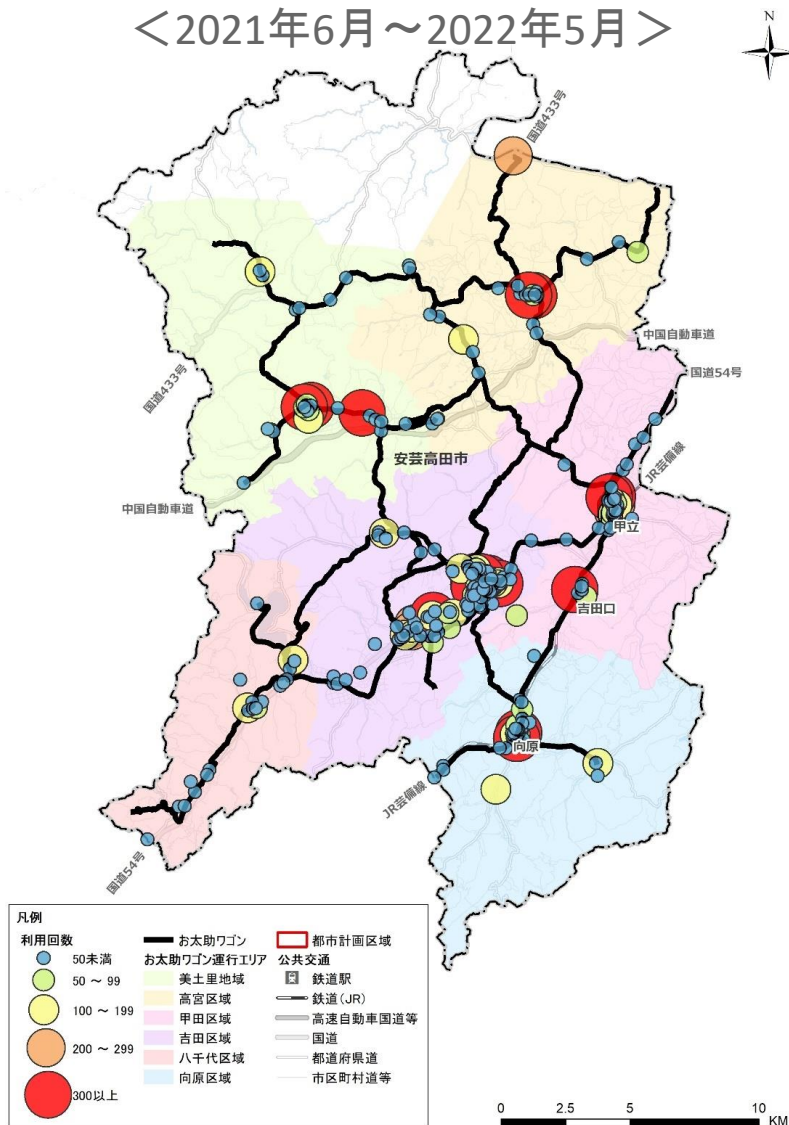
■ お太助バスの利用の現状

- 2021年のお太助バスの乗車人数状況を見ると、路線によって利用状況に大きな差が生じている
- 美土里町、高宮町、向原町の路線の利用者が少ない

3. 安芸高田市の公共交通の現状と課題 (お太助ワゴンの利用の現状)

■ お太助ワゴンの利用回数 (乗車人数と降車人数の合計)

<2021年6月～2022年5月>



■ お太助ワゴンの運行時間帯・運行便数

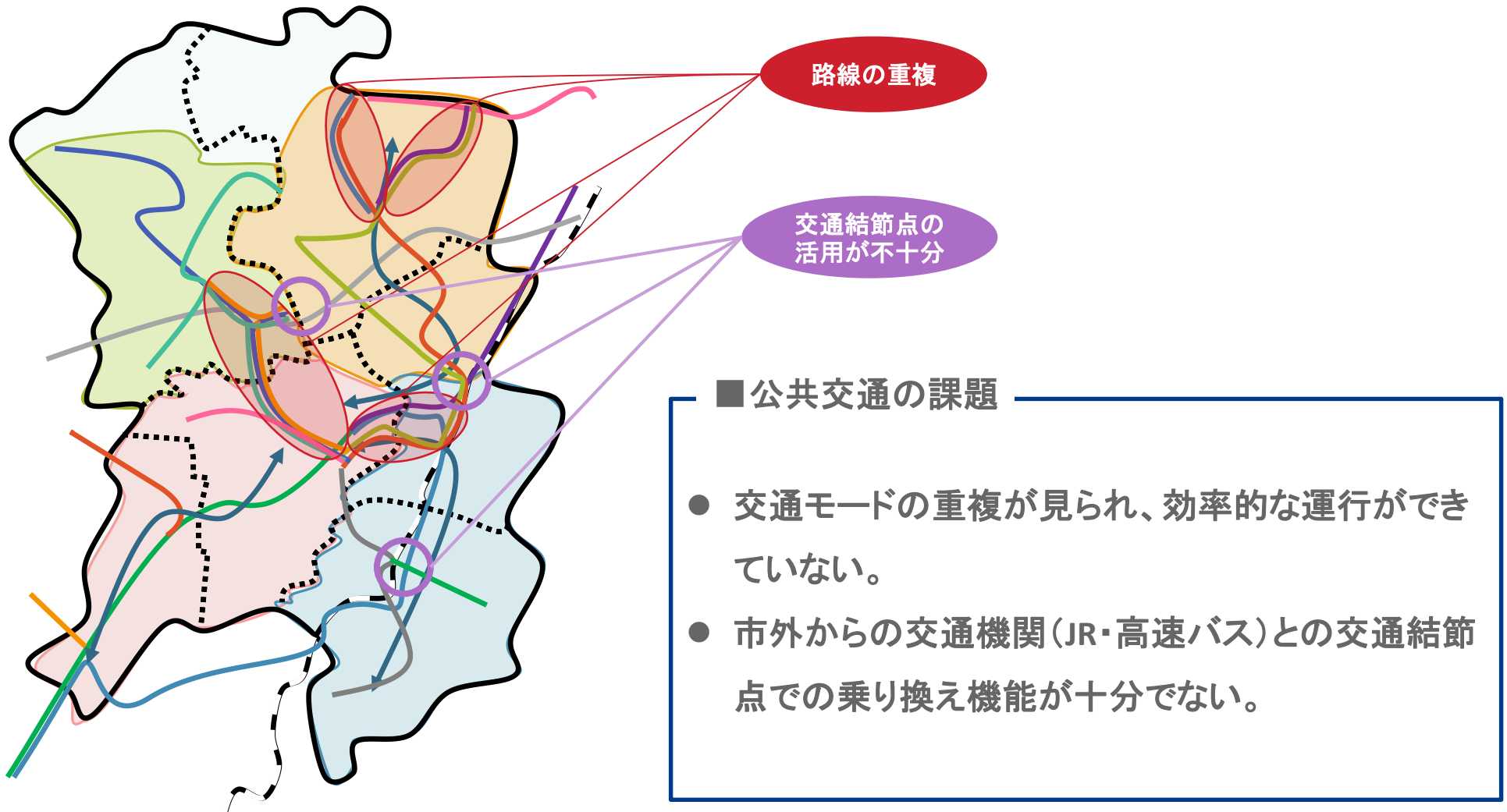
区域	運行時間帯	運行便数
高宮甲田 1	8時～16時	6
高宮甲田 2		6
美土里 1		6
美土里 2		6
吉田八千代 1		6
吉田八千代 2		6
吉田八千代 3		6
甲田向原 1		6
甲田向原 2		6
甲田向原 3		6

■ お太助ワゴンの利用の現状

- 各地域拠点、交通結節点へのアクセス手段として利用されている
- 八千代町地域の利用は他と比べて少ない

3. 安芸高田市の公共交通の現状と課題 (他の交通モードと重ねた時に見える課題)

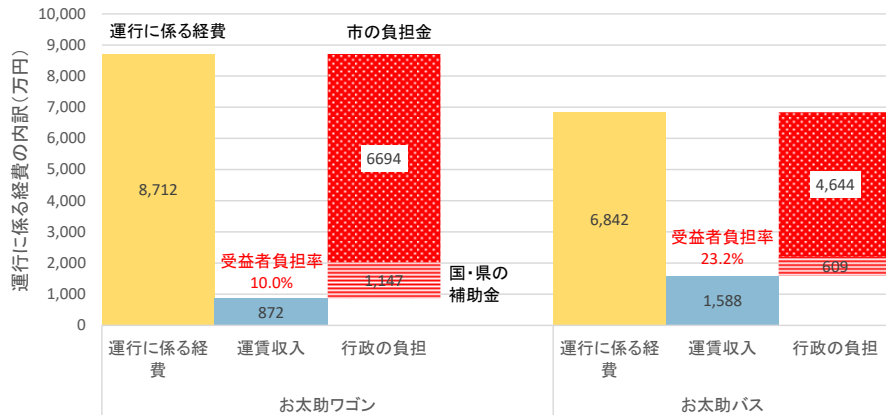
本市における公共交通は市のほぼ全域をカバーしているが、交通モードの重複や低需要地域での供給過多など効率化に向けた課題が多い



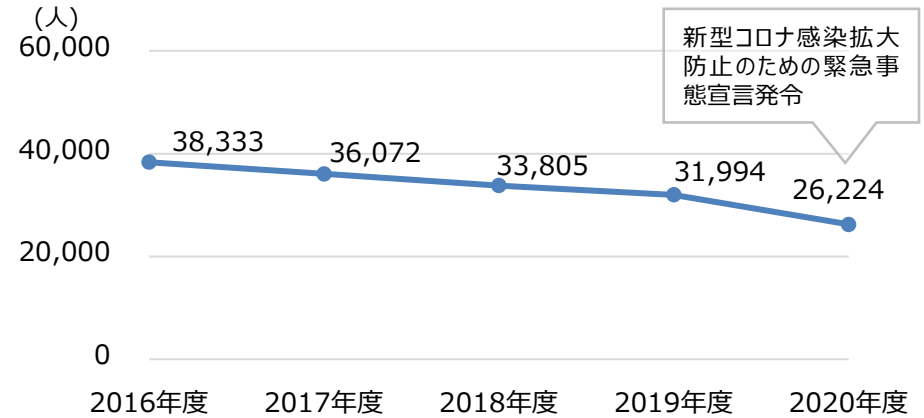
3. 安芸高田市の公共交通の現状と課題（公共交通の維持に必要な経費の課題）

利用者の減少が続く中、現状の運行形態（サービス水準）を維持すれば、市の負担はますます増える
 ⇒サービス水準をある程度維持しながら効率的な運行に見直す必要がある

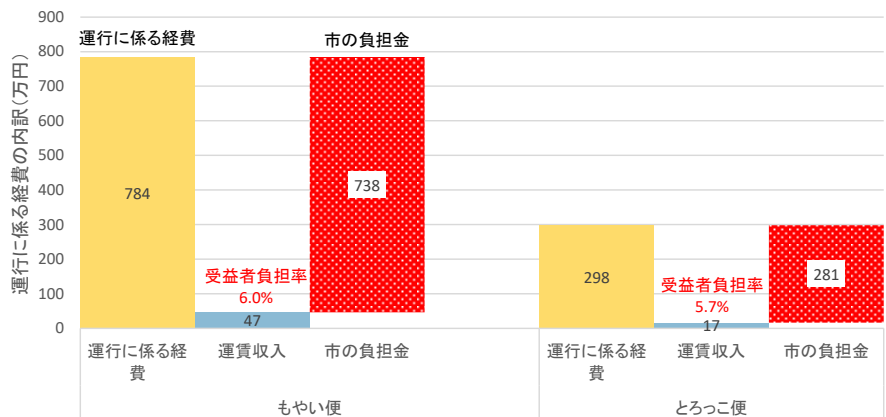
■ お太助ワゴン、お太助バスの予算収支（2020年度決算）



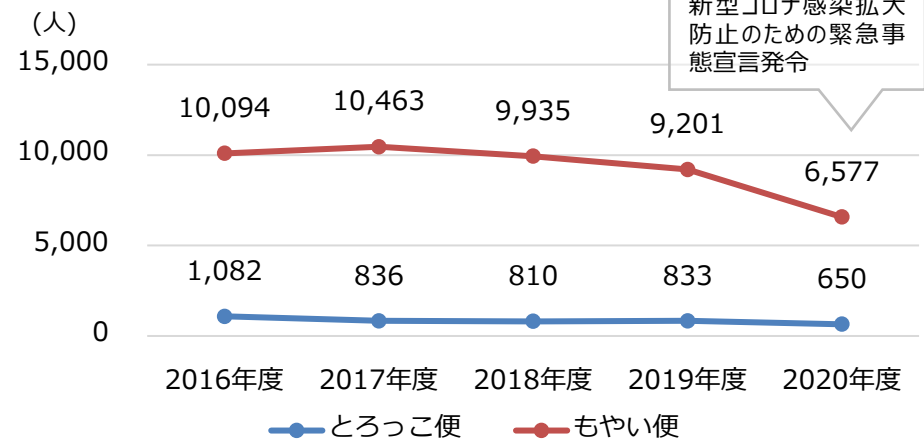
■ お太助ワゴンの利用者数の推移



■ もやい便、とろっこ便の予算収支（2020年度決算）



■ もやい便、とろっこ便の利用者数の推移



4. 公共交通の見直しのポイント

公共交通の現状を踏まえ、4つの問題点を抽出

■公共交通の見直しのポイント

①

コンパクトな都市
機能にあわせた
交通体系の構築

- 人口の減少・少子高齢化に伴う都市機能のコンパクト化に合わせた交通体系の構築が必要となっている

②

利用者数の低迷

- お太助バス利用率の低い路線の顕在化、お太助ワゴンの利用者数の低下など、利用実態に合わせた運行ができていない

③

交通結節点の
機能不全

- 道の駅北の関宿、JR芸備線の駅など交通結節点の施設のポテンシャルを活かしきれていない

④

移動手段の競合

- 一部箇所においては、他の移動手段との競合状態となっており効率的な運用に繋がっていない

5. 基本方針及び目標

本市における公共交通の問題点を踏まえ、地域として目指すべき将来像と基本方針を設定

目指すべき将来像

目的地へアクセスしやすいやさしいまちづくり

基本方針

方針①

まちづくりと連携した地域公共交通体系の実現

方針②

利用者のニーズを踏まえた使いやすく利便性の高い移動環境の整備

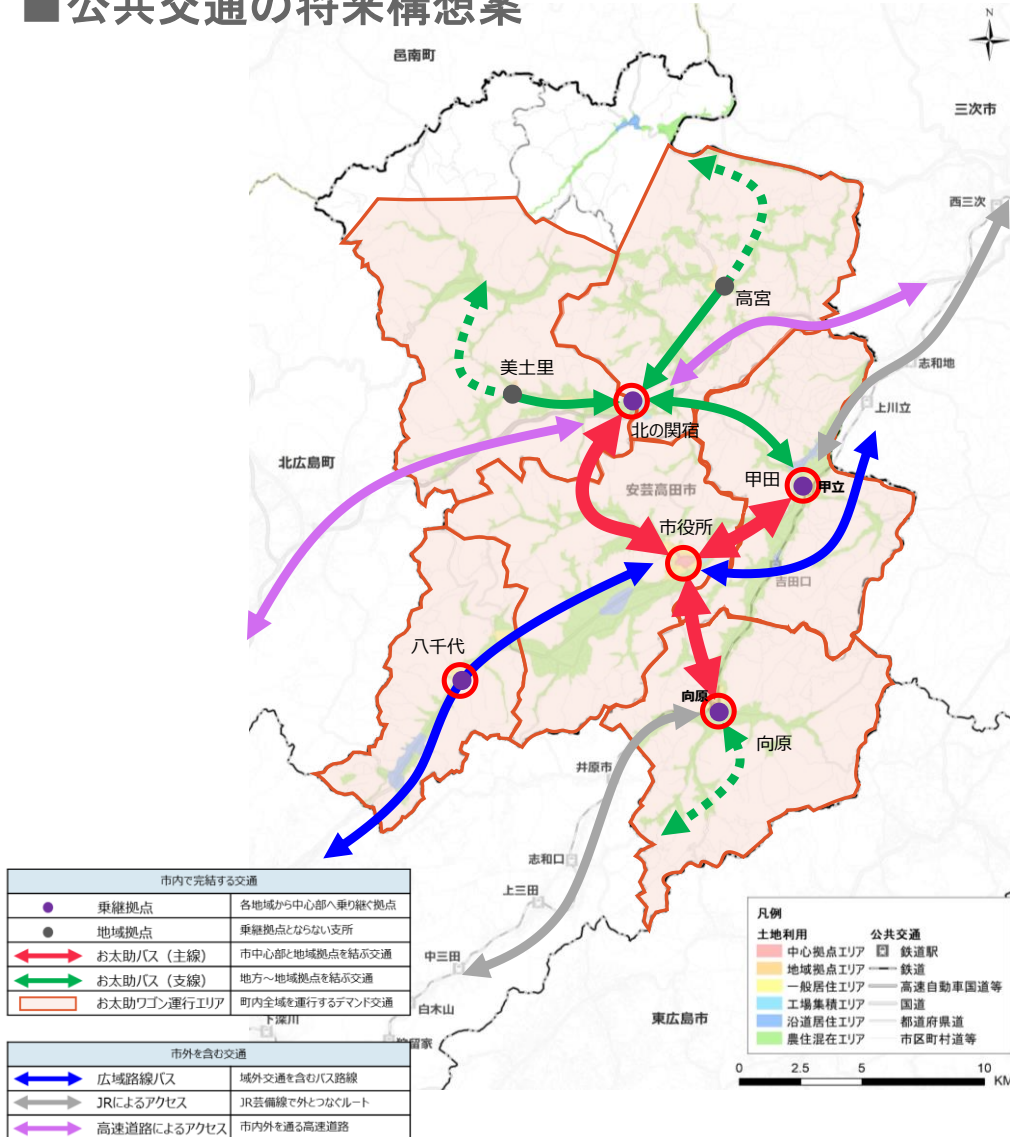
方針③

利用状況を踏まえた、持続可能で効率的な地域公共交通体系の構築

5. 基本方針及び目標

公共交通に関する問題点及び目指すべき将来像と基本方針を踏まえ、公共交通の将来構想案を作成

■公共交通の将来構想案



- 地域拠点から中心拠点・交通結節点までは **定時定路線による運行を確保**し、周辺地域から地域拠点までは、**デマンド交通(お太助ワゴン)による運行を確保**
- お太助ワゴンの運行範囲は、周辺地域から地域拠点までを基本とし、**利用状況を踏まえながら**今後の計画期間の5年間で**最適な交通モードへの転換を検討**
- **道の駅北の関宿は乗継拠点としての環境と規模を有しており**、乗継拠点として設定 **高速バスとの乗り継ぎ効果を最大化することが必要**であることから、高宮BS、美土里BSとの役割分担等について検討が必要
- JR甲立駅・向原駅に隣接する**甲田・向原の地域拠点は、乗継機能を持たせられるよう検討が必要**
- 美土里支所、高宮支所、向原支所より先の**支線については、利用状況等から運行範囲を検討**
- 小・中学校への通学に使っている路線に影響があるときは、**スクールバスへの転換を検討**

6. 今後のスケジュール

計画	公共交通会議内容	R4											R5	
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~3		
安芸高田市地域公共交通計画														
	第1回 交通計画策定について	● 6/23												
	第2回 現状分析と将来像の提示・意見交換							● 12/2						
	第3回 公共交通計画(案)の検討										● 予定			
	パブリックコメント													
第4回 公共交通計画策定											● 予定			
(予定)安芸高田市利便性増進計画 令和5年度末策定	<ul style="list-style-type: none"> 交通計画の実現施策の検討 利便性を高める施策の検討 路線とダイヤの設定 運行事業者の決定 運賃等の検討 													